

受賞者概要

市 町 村：鶴岡市

タイトル：水田地帯における家族複合経営のトップランナー

～良食味米生産と担い手育成で地域農業をリード～

氏名(集団名)：鈴木仁、鈴木厚子

1 受賞者の概要

平成9年に会社勤務を辞めて、夫婦で仁氏の実家にUターンし、父の経営に参加する形で就農した。常に栽培データや経営成績を分析しながら、規模拡大や品質向上に取り組んできた。後継者も就農し、両親を含む家族5人で役割分担を明確にし、水稲約17haとスプレーギク栽培などを組み合わせた複合経営を行っている。



鈴木仁氏（左）と厚子氏（右）

2 特色ある活動

(1) 高品質・良食味にこだわった米づくり

「消費者に選ばれる高品質でおいしい米づくり」を経営理念に、土壌特性を考慮した土づくりやきめ細やかな栽培管理に努めている。水田を丁寧に管理する姿勢は近隣農家からの信頼につながり、効率的に作業可能な範囲内での規模拡大にも結び付いている。

こだわりの米づくりが評価され、平成23年には「山形つや姫マイスター」を委嘱され、後に県及び庄内地域のマイスターの会の会長も務めるなど、「つや姫」のブランド化や地域の高品質・良食味米生産をリードしている。

(2) 試行錯誤を繰り返してスプレーギクの品質を向上

複合品目として、当初はトルコぎきょうとストックを栽培していたが、より省力で計画生産できる品目が必要と考え、平成13年にスプレーギクを導入した。生育をよく観察するため、日頃から巻き尺を持ち歩いて生育を調査するとともに、問題があった場合は原因や改善策を考え、年に複数回ある作付けでリトライを繰り返した。この積み重ねの結果、現在の秀品率は98%と極めて高く、農協の部会員平均を大きく上回っており、スプレーギクは経営の基幹品目に成長している

(3) 地域農業の担い手育成に貢献

鶴岡田川農業士会会長として地域の担い手育成に積極的に取り組んでいる。令和2年に開校した鶴岡市立農業経営者育成学校が実施する「研修生と農業士との情報交換会」では、他の農業士にも参加を呼びかけ、活発な意見交換を行い、研修生と地域の先輩農業者との交流を深め、研修修了後の研修生の円滑な就農に貢献している。

3 今後の発展方向

米については、後継者の技術向上やスマート農業技術の導入を図りながら20haまでの拡大を目指す。スプレーギクについては、ハウス1棟当たりの作付け回数の増加とハウスの増棟により、販売額1,000万円を目標に生産拡大を図っていく。

また、近い将来の両親のリタイヤに備え、外部からの労働力確保に向けた準備を進めるとともに、経営の法人化を検討していく。